



宇都宮市立錦小学校 学校だより

にしきの子

第4号 令和6年 7月16日 発行者 校長 大森信二

学校教育目標（合言葉）

- 一、しっかり学ぶ 錦の子
- 一、よりよく生かす 錦の子
- 一、なかよく生きる 錦の子
- 一、元気でがんばる 錦の子

校内研修会（研究授業・授業研究会）

7月1日（月）、宇都宮市教育委員会から 日下田 絢 指導主事をお招きし、校内研修会を実施しました。研究授業を実施したのは、5学年の鈴木教諭と6学年の本澤教諭です。研究のねらいは、児童が自分や友達の考えを基に新たな考えを生み出す力を育むことです。ともに家庭科の学習です。5年生は「続けよう 家庭の仕事」、6年生は「すずしく快適に過ごす住まい方」についての授業です。6年生のある児童は、「涼しく快適に過ごすためには、いくつか組み合わせることが効果的だ。環境に配慮することも大切。」と授業を振り返ることができました。11月には、市内の全小学校から教職員が一同に会し、本校で家庭科の研究授業を行う予定です。



あいさつ週間・小中合同あいさつ運動

6月24日（月）から28日（金）までを、「錦小学校あいさつ週間」としました。児童会の代表委員と各クラスのあいさつリーダーが、朝の7時40分頃から約10分間、あいさつ運動を行いました。あいさつリーダーは各クラス10名です。1日2名ずつ5日間、あいさつ運動に参加しました。また、24日（月）、25日（火）、27日（木）の3日間は、地域学校園の取組の一つとして陽北中学校との合同によるあいさつ運動となりました。



いじめゼロ標語決定

☆最優秀作品（3年1組）

やさしいきもち みんなの笑顔が 光りだす

◇優秀作品

（5年1組）「やめようよ」 その一言で かわるかも

（5年2組）助けよう それがみんなの 正義だよ

全児童が「いじめゼロスローガン」を考え、クラスごとに代表作品を選び、児童会の代表委員会が優秀作品を3点選出しました。その後、1人1台端末を使って全校児童が投票し、最優秀作品が決定しました。

『やさしいきもち みんなの笑顔が 光りだす』のスローガンの下、いじめゼロに取り組んでまいります。



授業見守りボランティアの皆様へ

水泳の授業を見守るボランティアの方をお願いしましたところ、多くの保護者の皆様にご協力をいただきました。大変暑い中、プールサイドから児童を温かく見守ってくださりました。お陰様で、安全に安心して授業を行うことができました。皆様に心から感謝申し上げます。

ふれあいウォークラリー

7月12日（金）2・3校時、ニコニコ錦班で行いました。



市小学生水泳大会

7月9日（火）、第54回市小学校水泳大会がドリームプールかわちで行われました。本校から出場した児童は以下のとおりです。

【50m自由形】

荒木 康志（5年） 佐藤 美日菜（5年）
稲見 龍空（6年） 茂谷 優花（6年）

【50m平泳ぎ】

奥村 夏梨（5年） 高德 紗望（6年）

【200m男女混合リレー】

茂谷 優花（6年） 福田 早絢（6年）
稲見 龍空（6年） 荒木 康志（5年）



教職員の体罰等に係る相談

宇都宮市では、教職員の体罰、不適切指導の根絶や指導力向上を図り、信頼される学校づくりに向け様々な取組を行っております。その一環として、保護者からの体罰等に係る相談の機会を設けております。そこで、相談事案等がございましたら、事前に、校長・副校長までお申し出ください。

相談の日時と場所は以下のとおりです。

◇日：7月22日（月）・23日（火）

◇時間：9時00分から12時00分

◇連絡先：621-0444（錦小学校）



東京オリンピックへの道のり～嘉納治五郎に学ぶ～

今月26日（金）から8月11日（日）まで、フランスで開催されるパリオリンピックでは、ブレイキンなど4つの追加競技を含む32競技329種目が実施される予定です。

3年前の2021年7月に、東京オリンピック競技大会が1年延期して開催されたことは記憶に新しいところです。東京での開催は、1965年に続き2度目でしたが、実は、1940年にも東京でオリンピックが開催される予定でした。戦争などを理由に開催を返上してしまい、幻の東京オリンピックと言われています。この時、日本に初めてオリンピックを招致した人が、柔道の神様と言われる 嘉納 治五郎（かのう じごろう）です。

嘉納治五郎は、大学に入り柔術の道場に入門し、柔術を「人道の精神」とも一致するとし柔道と名付けました。治五郎は、教育者の道に進み講道館という道場を開き、門弟を集め「精神善用」と「自他共栄」の考えを説き、稽古を積みました。治五郎は、「外国の人と接すると日本人の心も変わる。スポーツは、青少年の心と体を通じ合わせる大きな力となる」と信じ、1912年、ストックホルムに初めて日本選手団を送りました。その後、アジア初のオリンピック開催を訴え、世界を回り、英語で「オリンピックは欧米だけのものではありません。真の世界の文化を目指すのであれば、日本で開催すべきです。」と演説し、ついに1940年、東京オリンピックの招致に成功しました。しかし、治五郎は開催予定の2週間前に帰国の途中で亡くなり、東京オリンピックも戦争のため開催されませんでした。治五郎の熱い思いを引き継ぎ、「復興と平和のシンボル」として、1965年に東京オリンピックが開催されました。嘉納治五郎の熱いスポーツへの思いを胸に、パリオリンピックに出場する選手の皆さんはもちろんですが、オリンピックを支えているすべての関係者に熱いエールを送り、みなさんで大いに盛り上げていきましょう。



本校のHPは日々更新しています。
最新情報はHPでご確認ください。



にっこりえがお
しっかりまなぶ
きたえるからだ

